

平成 29 年 4 月 19 日

4 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は間伐中心に順調で入荷量も平年を上回る。荷動きは製品需要の一服感と出材量の増加により需給が大幅に緩和する中で、大手工場の順調な原料手当てが続く。スギは柱材の引合いが弱まり、中目材は目詰り材の引合いが良好。ヒノキは柱材、中目材とも引合い順調。価格は全般に落ち着き、スギは急落した柱材が横這いで、中目材は弱保合。ヒノキは柱材、中目材ともにほぼ横這いで推移。協定販売の期間を 6 カ月から 1 年に変更、年間の販売量も 3 万 m³を上回る予定。

群馬の製材工場は 4 月も公共事業の受注残で順調に操業。原木出材は年度末で少なく集荷しにくい、原木在庫は通常より少なめ。製品販売は全体的に順調、製品市場からの注文は、首都圏中心に順調だが県内は少ない。製品在庫はスギ以外は増加傾向だが、4m90 角 KD がスギ、ヒノキともに少ない。価格は全般に低位安定が続く、4m の角類が多少の値上がり。4 月に入りプレカットや小売店からの受注が減少傾向。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、記録的な多雨で米・加ともに出材に影響したが、3 月に入り徐々に回復し、これから春の出材期を迎える。米国の産地港頭在庫は 3 月前半の船積み少なく、現状ある程度の在庫確保ができた状態。カナダは依然国内在庫が低水準で、国内工場より輸出申請材に対するブロックが厳しい状態。ウエアハウザー社の 4 月積み対日米マツ価格は、前月積比で据え置き。2 月の米材丸太の入荷量は 229 千 m³で昨年並みのペース。出荷量は 263 千 m³で 1 月を上回る。在庫量は前月比 34 千 m³減の 258 千 m³。日本国内の米材工場は季節的に盛り上がりならず。2 月に 25%上昇した SPF は 3 月に入り半値戻しの急落。米商務省による報復関税への裁定が今月下旬に出る予定。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)3 月の入荷量は 28 千 m³(前月比 3.9%増)、出荷量は 26 千 m³(同 4.0%減)。在庫量は 45 千 m³(同 3.1%増)。2 月の米国住宅着工は、年率換算 128.8 万戸で前月比 3.3%増。ランダムレンジス紙発表 3/31 の 15 種木材価格平均は、\$ 402/M で 2 月末比 2.0%ダウン。米松の QTR2 の現地価格

は為替上昇で\$ベースは各シッパー軒並みアップ。先行きは4月に入りあまり良くないが、GW明けは仕事が出てくると予測。

3. 南洋材

サバは天候が回復し出材量は増加しているが、サラワクの出材が悪いためサバに原木バイヤーが集まり、相場は強気配。製材品も韓国等の需要増で相場は保合。サラワクは原木伐採規制強化の定着と天候不順で原木出材は依然悪い中、インド等の買付が強まり相場は強気を維持。PNG ソロモンは雨多く出材少ない。インド、中国のバイヤーの手堅い動きで相場は保合。日本の買い少ない。丸太の入荷はなし、出荷・在庫とも減少、製材品の入荷は減少。丸太の販売は合板・製材用とも平年並み。製材品はインドネシアの集成材等の現地価格が強基調のため、今後の国内相場は強含みで当用買い中心の荷動き。

4. 北洋材

シベリア地域の伐採は間もなく終了。日本向け適合アカマツ丸太の絶対量不足。輸入製品は中国、日本の購買意欲が依然高く、原料価格は高止まり。丸太価格はエゾマツ・カラマツ\$160、アカマツ\$190で強保合続く。製材品は現地挽き上級グレードがルーブル高で強含み、国内挽きは値上げトライ中。アカマツ原板は\$380で更に強含み。荷動きは現地挽き3.0cm×4.0cm上級グレードが需要停滞で値上げ難しい。国内完成品は良質グレード、胴縁・ヌキが引続き堅調。国内の北洋材製材工場は通常の稼働、特注品で採算維持、1月の原材料調達丸太が前年同月比減、原板は依然入荷少ない。上級材・特殊材の受注多いが対応難しい。

5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調で、価格はカラマツ以外は横這い。ロシア材は出材減が続く中、需要旺盛で価格も上昇。米材もロシア材と同じ状況。南洋材は例年より天候の回復が遅れ出材は低調、価格も高値張り付きのまま。2月の国内合板総生産量24.6万m³のうち、針葉樹合板は23.4万m³で前年比でわずかに減少。出荷量も23.2万m³と昨年比で減少、昨年3月以降出荷量が生産量を下回ることとなり、在庫量は8.5万m³、うち構造用合板は7.4万m³で、依然低水準の状況が続く。国産針葉樹合板の4月販売価格は横這い。受注残の解消とともに流通での価格のバラツキがなくなっている。メーカーの打出し価格は2月から横這いが続くが、この状態は当分続くと思われる。

国産針葉樹合板の不足感は解消している。新規受注は極端に減り受注残もほぼ解消した。輸入合板の荷動きは全体に落着いたままで、3月に一部12mmを中

心に乱れた価格が聞こえた程度。先行き国産針葉樹合板は、受注残がほぼ解消したが、西日本での不足感やGWを挟んで今後のメーカーの供給量、GW以降好調といわれる直需ルートの仕事量等から先行き不透明な状況。輸入合板は3月の一部の価格乱れは、引合いの少なさから値戻しも簡単ではなく、綱引き状態が続く見通し。

6. 構造用集成材

入港は順調だが3・4月の現地出港はコンテナ集荷に苦勞、サプライヤーによってバラツキ。QTR2ラミナ交渉は船運賃上昇のため、10~20€/m³アップで、価格上昇は避けられない状況。10€以上の値上げは4年ぶり。ラミナ上昇で輸入RW梁桁は1,000~4,000円/m³の値上げ。国産集成材の受注は引続き好調。販売・荷動きとも良好で、RW梁桁は品不足が続くWW間柱は一服感。販売先行きは関東を中心にプレカット受注が旺盛で、この状態がしばらく続く見通し。在庫は集成材梁桁が少ない。輸入集成材は船賃上昇で10€以上値上りしており、夏場にかけて更なる価格上昇が予想。新築を支えてきた住宅ローン金利が上昇する気配。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷状況は、一部で天候不良のため低調だがおおむね例年並み。解体材は例年並みだが、製紙メーカーの定期修理のため需給緩む。消費は製紙用、燃料用とも減少。在庫は削減状況。針葉樹チップ価格は製紙用は変わらず、FITは高値修正の動き。輸入チップの発生量は順調、価格は為替レート変動に伴い値下げ傾向。国内チップ工場の操業状況は例年並みだが、需要先の定期修理の関係で稼働率が二極化。

8. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ・ヒノキ柱角の入荷難は解消したが、需要が減退気味で価格は弱含み。造作材はスギ桁平建具材は落ち着いた商況。外材の構造材は米マツ小角類が品薄で荷動き良く強含み。造作材は米ヒバが品薄で引合い好調。年度替わりで材の品薄感は解消したが、買方の手持ち仕事量が少なく来場者少ない。春需本番となったが落ち着いた商況が続く、特殊品を除き問屋はやや苦戦。

9. 小売

国産材の構造材はスギKD柱・小割・板、ヒノキKD柱・土台いずれも保合。外材はロシアアカマツタルキ保合だが良材少ない、米ツガ角・平割とも強保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合、タモ・ナラ

平割保合。集成材は WW、RW の柱・梁保合。合板は国産針葉樹、輸入品とも保合。
プレカット工場は見積・加工とも順調。大工、工務店は 4 月に入り一段落、荷
動きも良くない状況。

4月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↗	↗	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	→
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’ 米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’ 米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
			同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD) 30×40上級	↗
			アカマツ(KD) 16×40上級	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↘
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→